



No. 7
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和元年度第4回

一般国道9号

ごじょうおおみやかくふく

五条大宮拡幅

【事後評価】

令和2年1月
近畿地方整備局

目 次

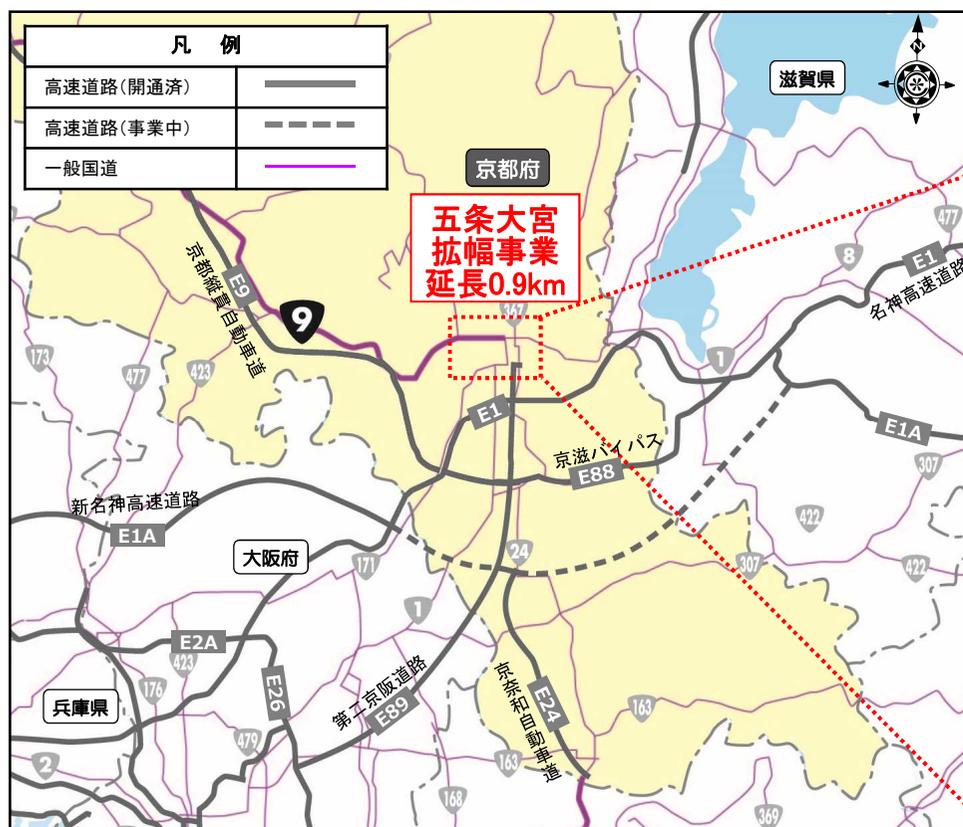
1. 事業全体図
2. 事業の目的と計画の概要
3. 社会経済情勢の変化
4. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化
5. 事業の効果の発現状況
6. 事業を通して得られた知見・学び
7. 対応方針(案)

1. 事業全体図

一般国道9号 五条大宮拡幅

一般国道9号は、京都府^{きょうと}京都市を起点に山陰地方を横断し、山口県^{しものせき}下関市に至る延長約640kmの主要幹線道路である。

五条大宮^{ごじょうおおみや}拡幅は、現道の交通容量を上回る交通需要があり慢性的な渋滞が発生していたため、交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的に計画された道路事業である。



2. 事業の目的と計画の概要

一般国道9号 五条大宮拡幅

事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保

計画の概要

区 間	(起) 京都府京都市下京区中堂寺坊城町 (終) 京都府京都市右京区西院南高田町
道路延長	0.9km
構造規格	第4種第1級
設計速度	60Km/h
車 線 数	8車線
標準幅員	50m
全体事業費	206億円
都市計画決定	平成2年11月
事業化	平成4年度
用地着手	平成5年度
工事着手	平成14年度
開 通	部分開通 0.5km(平成16年9月) 全線開通 0.4km(平成26年10月)

※ 土地区画整理事業と一体的に事業を実施

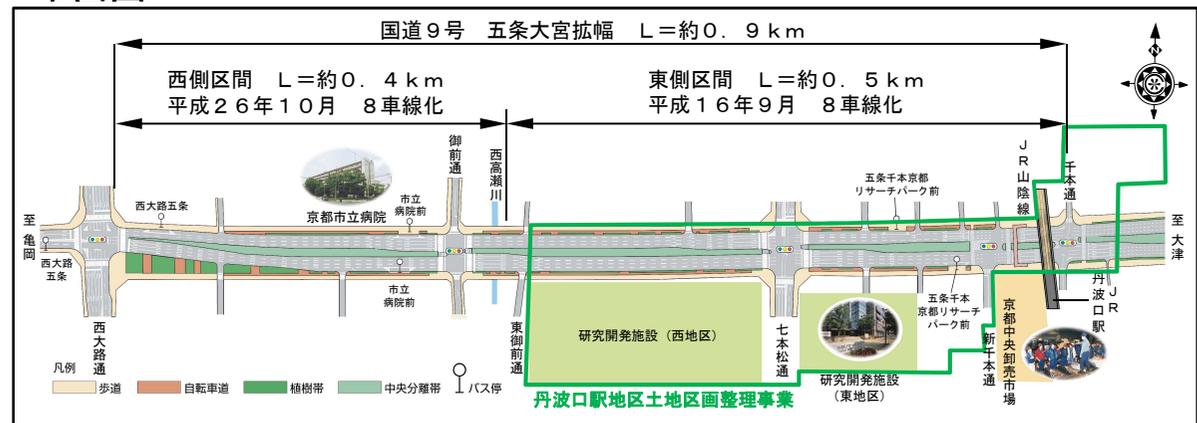
位置図



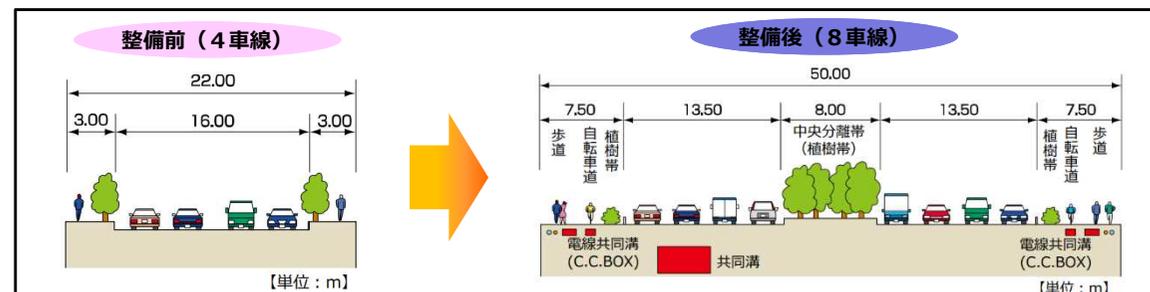
拡大図



平面図



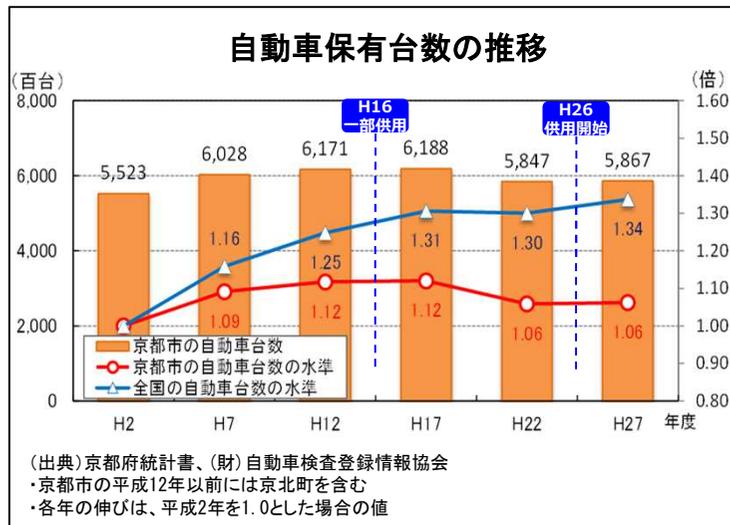
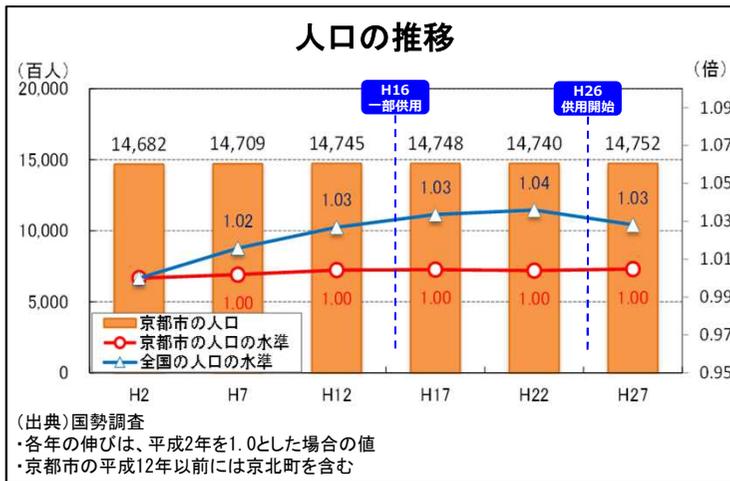
標準断面図



3. 社会経済情勢の変化

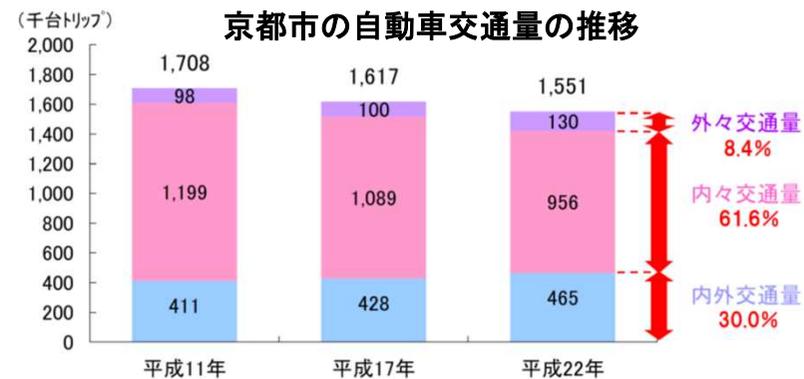
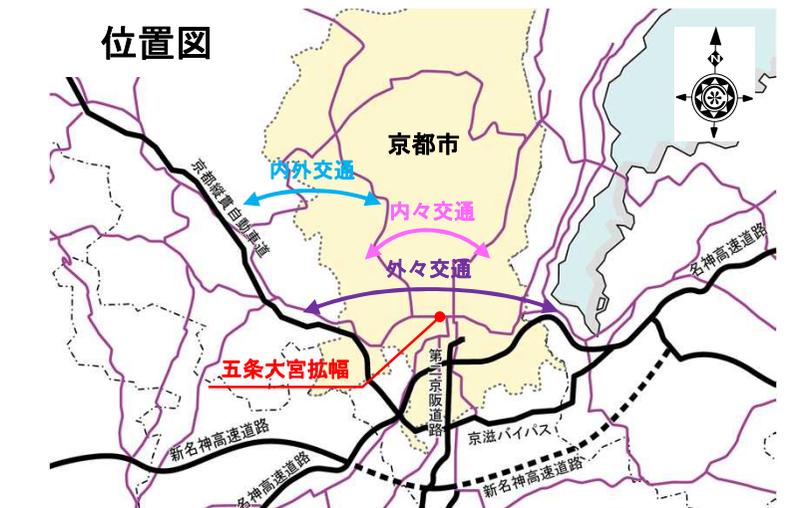
◆沿線地域の現状(人口、自動車保有台数)

- 京都市の人口は、平成2年以降ほぼ横ばいで推移。
- 京都市の自動車保有台数は、平成17年以降減少傾向。
- 京都市全体の交通量は減少傾向であるが、内外及び外々交通量は増加傾向。



京都市を取り巻く環境や交通特性を踏まえ、円滑な物流の確保及び周辺都市とのネットワーク強化のため、必要な幹線道路の整備についても検討を進める必要がある。

出典：第3回 将来道路ネットワーク研究会 とりまとめ資料より抜粋



(出典)全国道路・街路交通情勢調査自動車起終点調査(H11, H17, H22)

※内々交通量は京都市内で移動する交通量、内外交通量は京都市と市外との間の交通量、外々交通量は市内を通過する交通量
 ※外々交通量は、H22における自動車交通量配分結果から推計

4. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

◆当初計画及び開通の状態

	当初計画 (H13再評価時) ^{※1}	現在	備考
道路構造等	8車線	8車線	
総事業費	310億円	206億円	用地補償費の減額による事業費減
交通量	71,000台/日 ^{※2} <計画>	56,381台/日 ^{※3} <実績>	
事業期間	平成4年度～平成24年度 (事業期間:21年)	平成4年度～平成26年度 (事業期間:23年)	H16.9 8車線化 東側区間(0.5km) H26.10 8車線化 西側区間(0.4km)

※1 平成4年度事業化で新規採択時評価を行っていないため、参考値として公表されている最も古い再評価時(H13)の値等を記載。

※2 R2将来OD(H6全国道路・街路交通情勢調査ベース)で、フルネットワークで算出した計画交通量。

※3 H27全国道路・街路交通情勢調査にて調査した交通量。

◆拡幅前後の状況

	整備前	整備後	整備前からの変化	変化の内容または理由
交通量 ^{※1} (国道9号)	61,505台/日	56,381台/日	5,124台/日減少	周辺も含め全体的に交通需要が減少
旅行速度 ^{※2} (国道9号)	24.7km/h	28.1km/h	3.4km/h向上	交通混雑の緩和による速度向上
死傷事故率 ^{※3} (国道9号)	361件/億台キロ	173件/億台キロ	188件/億台キロ減少	交通混雑の緩和による死傷事故率の減少

※1 交通量:観測地点(京都市下京区中堂寺)

採用値(整備前:H11全国道路・街路交通情勢調査、整備後:H27全国道路・街路交通情勢調査)

※2 旅行速度:観測地点(西大路五条交差点～堀川五条交差点)

採用値(整備前:H11全国道路・街路交通情勢調査、整備後:R1京都国道事務所調査)

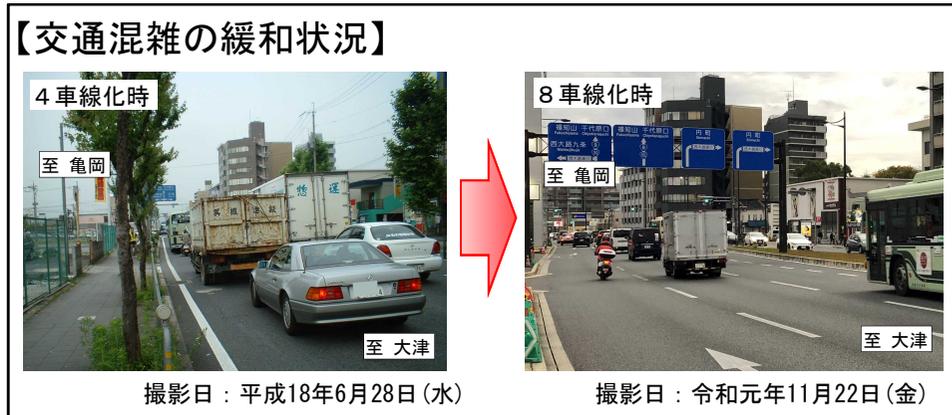
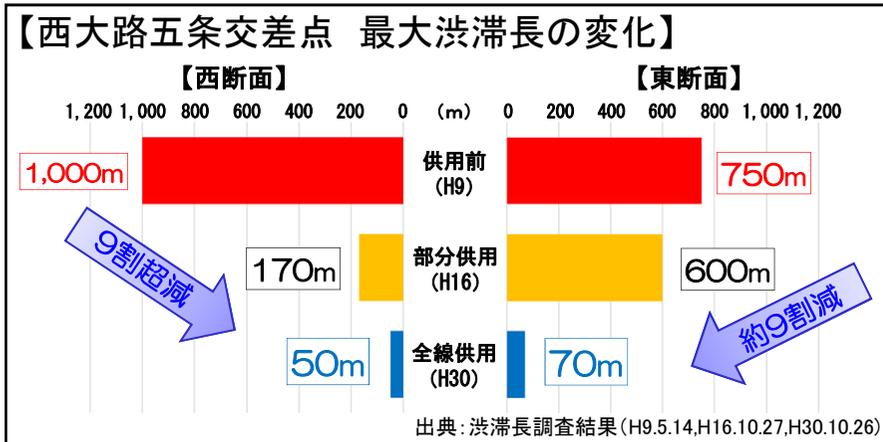
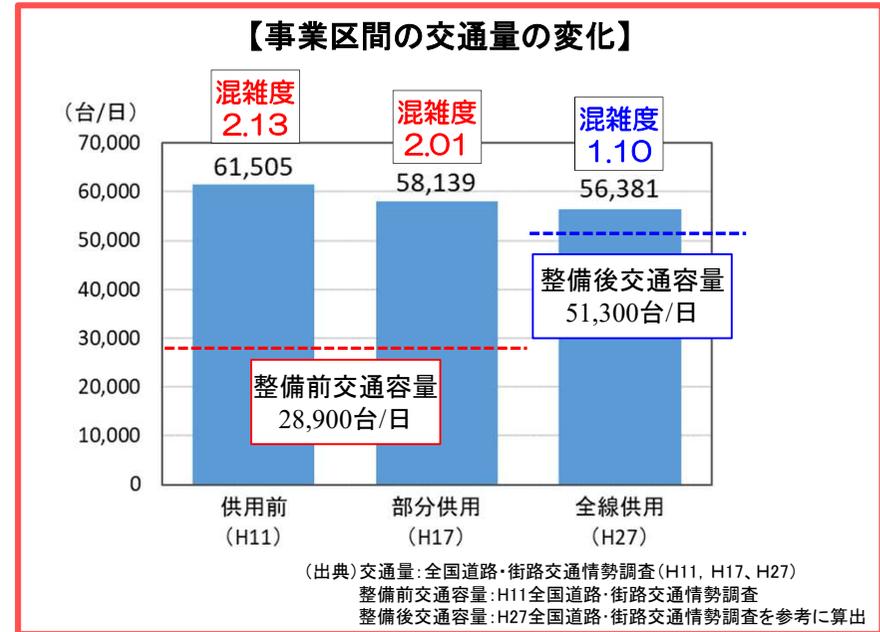
※3 死傷事故率:採用値(整備前:H11-H14交通事故総合分析センター、整備後:H27-H29交通事故総合分析センター)

5. 事業の効果の発現状況

一般国道9号 五条大宮拡幅

◆交通混雑の緩和

- 五条大宮拡幅の整備により、交通容量が約1.78倍に増加し混雑度は1.10となった。
- 整備後、西大路五条交差点東断面では渋滞長が約9割減少。



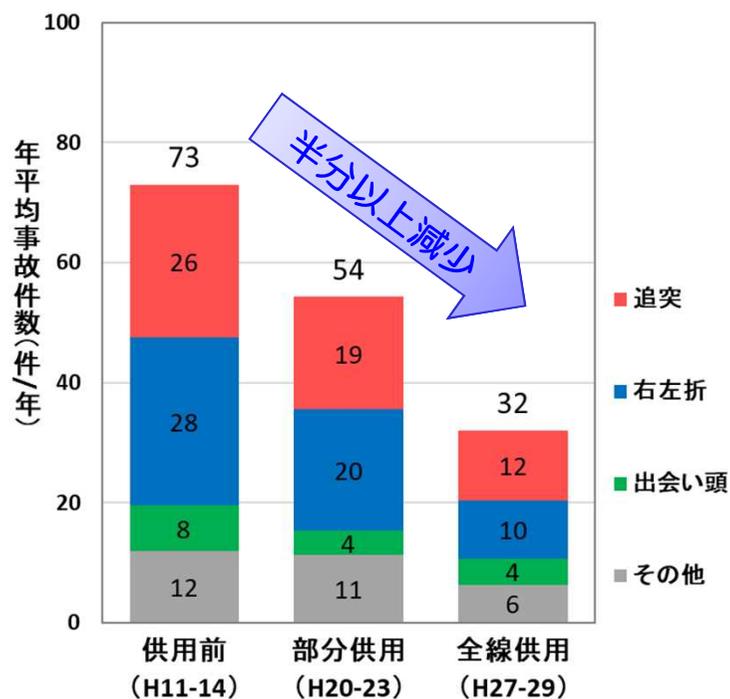
5. 事業の効果の発現状況

一般国道9号 五条大宮拡幅

◆交通安全の確保

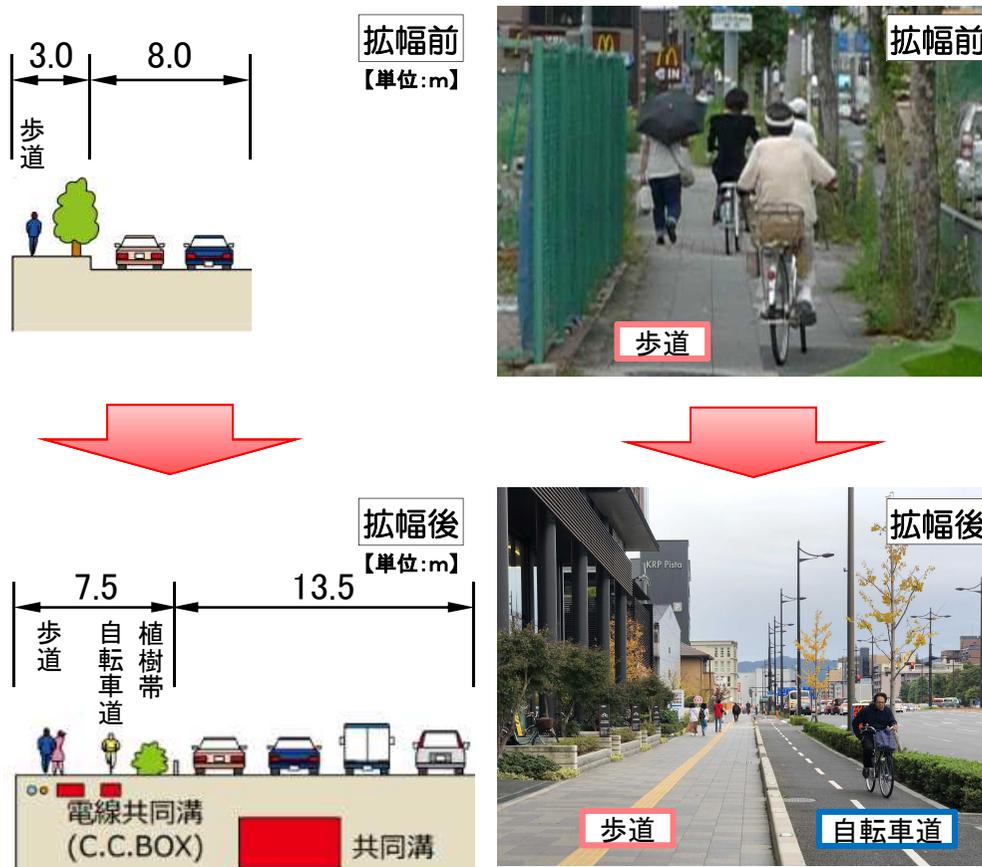
- 五条大宮拡幅の整備により、交通事故件数は半分以下の32件/年まで減少。
- 歩道の拡幅、自転車道の整備、無電柱化により、歩行者と自転車が分離され安全で快適な歩道空間を確保。

【供用前後の年平均死傷事故件数の推移】



出典: 交通事故ピンマップ H11~14
イタルダ事故データ H20~23, H27~29

【歩道の整備状況】



5. 事業の効果の発現状況

一般国道9号 五条大宮拡幅

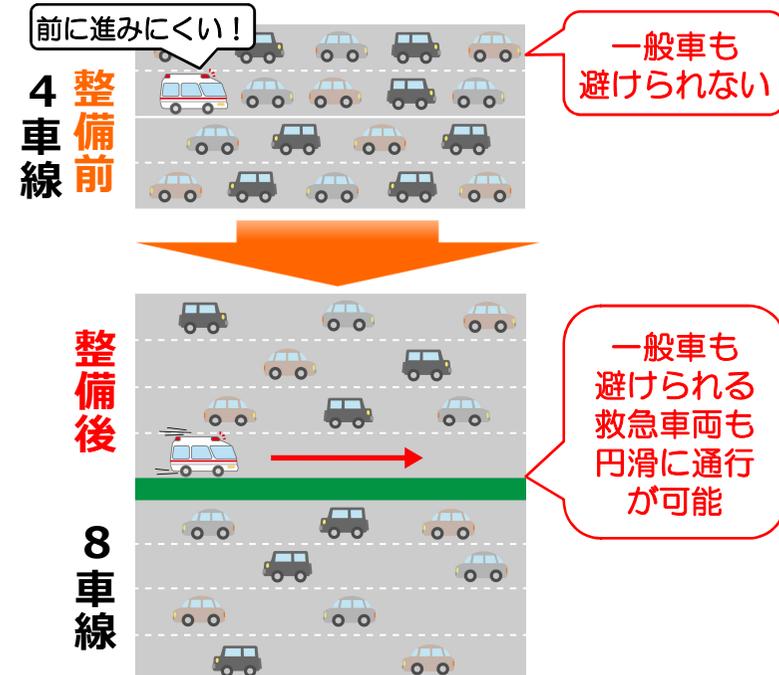
◆緊急車両の通行

- 国道9号は「京都市立病院」、「京都第二赤十字病院」への搬送の際に利用される。
- 8車線へ拡幅したことで、一般車が救急車両を避ける空間ができ円滑な通行が可能。

【事業区間と消防署の配置状況】



【救急車両の円滑な通行】



- 「京都市立病院」や、「京都第二赤十字病院」に搬送する際に国道9号を使用する。
- 夜中や土日祝日まで対応している小児科の救急病院は比較的数量が少ないため、「京都市立病院」に搬送することが多い。
- 国道9号の「中堂寺消防出張所」は、西に行く際には拡幅の効果が大きい。



- 4車線のときは一般車も避けることができなくて進みづらかった。
- 拡幅によって、道が混んでいても一般車が避けることができるため通行しやすくなった。

京都市消防局ヒアリング結果
平成31年2月25日(月)

本事業の実施を通して、以下の知見・学びが得られた。

■事業計画

【事業区間の分割】

関係機関との調整を経て、早期の整備効果発現を目的に、東側区間を先行供用開始した。

- ・東側区間(0.5km) : 平成16年度 8車線化先行開通
- ・西側区間(0.4km) : 平成26年度 8車線化開通

土地区画整理事業と一体となって整備を行う東側区間を先行して供用することにより、立地企業数の増加が見られるなど、地域振興に寄与した。

⇒今後も早期の整備効果発現を目指した事業計画を行い、効果的な事業の推進を図ること。

■施工方法

【工期短縮】

西高瀬川渡河部では、既設構造物の形式を踏襲した橋梁形式から、新たな工法として普及してきたプレキャストボックスカルバートに変更することにより、工期を約7ヶ月短縮して施工することができた。

橋梁 約10ヶ月 ⇒ ボックスカルバート 約3ヶ月

⇒事業化後にも技術の動向に関心を持って、積極的に新工法についても導入を図ること。

■協議・調整

【協議・調整のあり方】

五条大宮拡幅では土地区画整理事業(当時の都市基盤整備公団)と連携し事業を実施。

官民による十分な協議・調整の上、都心部における市街地整備と一体的に事業を進めたため、特に用地取得を円滑に進める事ができた。

⇒公共施設管理者負担金制度を利用し、直接用地交渉を行わず事業用地が確保できるため、積極的に事業の推進を図る制度を利用すること。

1. 今後の事後評価の必要性

五条大宮拡幅の整備により、国道9号の交通混雑の緩和、事故の減少等、供用による効果の発現状況に特に問題はなく、現時点では今後、同様の事後評価の必要性はないと思われる。

引き続き、社会経済情勢等の変化や交通状況等の把握を行い、必要に応じて課題の抽出や対応の検討等に努める。

2. 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法について見直しの必要性

五条大宮拡幅は、早期の整備効果の発現を目的に事業区間の分割を行ったり、周辺への影響を考慮した施工などに取り組んだ。また、土地区画整理事業と官民連携による事業を実施することで効率的に進めてきたため、規模や課題の大きな事業であったが、円滑に推進することができた。今後、同種事業の計画・調査にあたっては、地元市、関係機関とも連携の上、効率的・効果的に事業を推進する工夫が必要であると考えらる。

また、今後も継続して種々の整備効果の把握・検証に努めるとともに、貨幣換算できない価値も含めて総合的に評価する手法について検討する。



No. 7
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和元年度第4回

一般国道9号

ご じょう お お み や
五条大宮拡幅

【事後評価】

令和2年1月
近畿地方整備局

(事後評価)

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号 五条大宮拡幅
事業主体	近畿地方整備局

●事業の効果や必要性の評価に対応する事後評価項目

政策目標	指 標	指標チェックの根拠	
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):11573万人・時間/年 渋滞損失削減時間:44万人・時間/年(17575万人・時間/年⇒17531万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:五条大宮拡幅 ←最後の1桁整数(主)嵐山祇園線(府)梅津東山七条線(市)大宮通(主)京都広河原美山線 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:55万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:3割削減	
	○ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		
	○ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	● 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	京都市バス、京阪バス、京都バス 開通後は渋滞が緩和	
	● 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	亀岡市～京都駅(所要時間:65分⇒64分)	
	○ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		
	物流効率化の支援	○ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		○ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="radio"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="radio"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input checked="" type="radio"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	丹波口駅地区土地区画整理事業
		<input type="radio"/> 中心市街地内で行われたことによる効果	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input type="radio"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input type="radio"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="radio"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	京都市都市計画(京都国際文化都市建設計画)丹波口駅地区土地区画整理事業
		<input type="radio"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="radio"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="radio"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される			
無電柱化による美しい町並みの形成		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	無電柱化推進計画(第5期)
		<input checked="" type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	市街化区域における無電柱化(0.9km)
安全で安心できるくらしの確保	<input type="radio"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="radio"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="radio"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量が100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	京都府地域防災計画（第1次緊急輸送道路）
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="bullet"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量: 1238.89t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="bullet"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：五条大宮拡幅 ←最後の1桁整数(主)嵐山祇園線（府）梅津東山七条線（市）大宮通（主）京都広河原美山線 排出削減量：3.21t/年、排出削減率：1割削減
		<input checked="" type="bullet"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：五条大宮拡幅 ←最後の1桁整数(主)嵐山祇園線（府）梅津東山七条線（市）大宮通（主）京都広河原美山線 排出削減量：0.21t/年、排出削減率：1割削減
		<input type="radio"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="radio"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="radio"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="radio"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="radio"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(事後評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道9号	五条大宮拡幅	L=0.9km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
60,600	8車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和1年度		
単純合計	200億円	14億円	214億円
基準年における 現在価値 (C)	360億円	7.1億円	367億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和1年度			
供用年	平成27年度			
単年便益 (初年便益)	15億円	0.49億円	0.03億円	16億円
基準年における 現在価値 (B)	372億円	12億円	1.1億円	385億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.1
経済的純現在価値 (B-C)	19億円
経済的内部収益率 (EIRR)	4.2%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

様式－3①

事業名：五条大宮拡幅（事業全体）

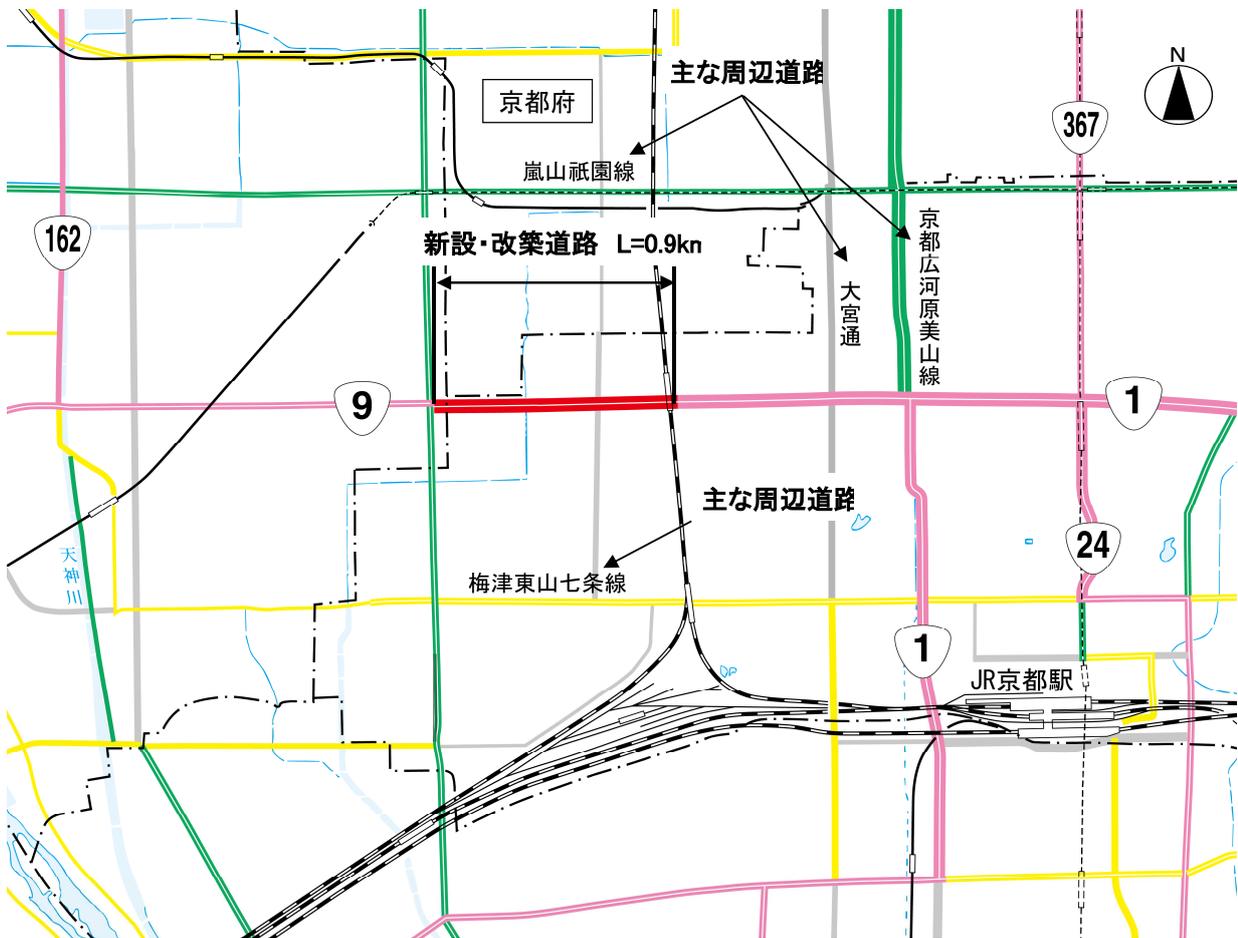
（推計時点 令和12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (0.9km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	47,200	60,600	
	走行時間 ^{※2}	[分]	3	2	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	29.78	20.57	
②主な周辺道路 ^{※4}	(主)嵐山祇園線 (1.6km)	交通量	[台/日]	20,600	19,000
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	16.19	14.66
	(府)梅津東山七条線 (1.5km)	交通量	[台/日]	19,300	16,300
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	13.34	10.75
	(市)大宮通 (0.8km)	交通量	[台/日]	24,500	26,100
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	9.84	10.87
	(主)京都広河原美山線 (0.8km)	交通量	[台/日]	66,200	61,700
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	26.95	24.23
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (3,806.0km)	走行時間費用	[億円/年]	10,761.63	10,761.90	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,811.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	10,857.73	10,842.97	14.76

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：五条大宮拡幅

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和1年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (令和12年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22全国道路・街路 交通情勢調査)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他()	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道9号 五条大宮拡幅

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.33	0.9	0.30

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-23年目	H 4	2.8834	117.6	0.10	0.25		
-22年目	H 5	2.7725	117.9	1.07	2.59		
-21年目	H 6	2.6658	117.8	5.05	11.77		
-20年目	H 7	2.5633	117.1	7.96	17.95		
-19年目	H 8	2.4647	116.6	15.84	34.48		
-18年目	H 9	2.3699	117.5	8.14	16.91		
-17年目	H 10	2.2788	116.9	35.60	71.48		
-16年目	H 11	2.1911	115.2	6.74	13.21		
-15年目	H 12	2.1068	113.8	15.89	30.30		
-14年目	H 13	2.0258	112.4	18.10	33.61		
-13年目	H 14	1.9479	110.5	19.05	34.59		
-12年目	H 15	1.8730	109.0	8.54	15.12		
-11年目	H 16	1.8009	107.9	8.24	14.17		
-10年目	H 17	1.7317	106.7	7.81	13.06		
-9年目	H 18	1.6651	105.9	18.58	30.09		
-8年目	H 19	1.6010	105.0	7.20	11.30		
-7年目	H 20	1.5395	104.4	0.54	0.82		
-6年目	H 21	1.4802	103.0	0.17	0.25		
-5年目	H 22	1.4233	101.3	0.81	1.17		
-4年目	H 23	1.3686	99.8	2.84	4.02		
-3年目	H 24	1.3159	99.0	3.97	5.44		
-2年目	H 25	1.2653	99.0	6.20	8.16		
-1年目	H 26	1.2167	101.5	1.52	1.87		
供用開始年次	H 27	1.1699	103.0			0.28	0.32
1年目	H 28	1.1249	102.8			0.28	0.31
2年目	H 29	1.0816	103.0			0.28	0.30
3年目	H 30	1.0400	103.0			0.28	0.29
4年目	R 1	1.0000	103.0			0.28	0.28
5年目	R 2	0.9615	103.0			0.27	0.26
6年目	R 3	0.9246	103.0			0.27	0.25
7年目	R 4	0.8890	103.0			0.27	0.24
8年目	R 5	0.8548	103.0			0.27	0.23
9年目	R 6	0.8219	103.0			0.27	0.22
10年目	R 7	0.7903	103.0			0.27	0.22
11年目	R 8	0.7599	103.0			0.27	0.21
12年目	R 9	0.7307	103.0			0.27	0.20
13年目	R 10	0.7026	103.0			0.27	0.19
14年目	R 11	0.6756	103.0			0.27	0.18
15年目	R 12	0.6496	103.0			0.27	0.18
16年目	R 13	0.6246	103.0			0.27	0.17
17年目	R 14	0.6006	103.0			0.27	0.16
18年目	R 15	0.5775	103.0			0.27	0.16
19年目	R 16	0.5553	103.0			0.27	0.15
20年目	R 17	0.5339	103.0			0.27	0.15
21年目	R 18	0.5134	103.0			0.27	0.14
22年目	R 19	0.4936	103.0			0.27	0.13
23年目	R 20	0.4746	103.0			0.27	0.13
24年目	R 21	0.4564	103.0			0.27	0.12
25年目	R 22	0.4388	103.0			0.27	0.12
26年目	R 23	0.4220	103.0			0.27	0.12
27年目	R 24	0.4057	103.0			0.27	0.11
28年目	R 25	0.3901	103.0			0.27	0.11
29年目	R 26	0.3751	103.0			0.27	0.10
30年目	R 27	0.3607	103.0			0.27	0.10
31年目	R 28	0.3468	103.0			0.27	0.09
32年目	R 29	0.3335	103.0			0.27	0.09
33年目	R 30	0.3207	103.0			0.27	0.09
34年目	R 31	0.3083	103.0			0.27	0.08
35年目	R 32	0.2965	103.0			0.27	0.08
36年目	R 33	0.2851	103.0			0.27	0.08
37年目	R 34	0.2741	103.0			0.27	0.07
38年目	R 35	0.2636	103.0			0.27	0.07
39年目	R 36	0.2534	103.0			0.27	0.07
40年目	R 37	0.2437	103.0			0.27	0.07
41年目	R 38	0.2343	103.0			0.27	0.06
42年目	R 39	0.2253	103.0			0.27	0.06
43年目	R 40	0.2166	103.0			0.27	0.06
44年目	R 41	0.2083	103.0			0.27	0.06
45年目	R 42	0.2003	103.0			0.27	0.05
46年目	R 43	0.1926	103.0			0.27	0.05
47年目	R 44	0.1852	103.0			0.27	0.05
48年目	R 45	0.1780	103.0			0.27	0.05
49年目	R 46	0.1712	103.0	-76.00	-13.01	0.27	0.05
合計				123.97	359.60	13.66	7.13
単純事業費計				199.97		13.66	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道9号 五条大宮拡幅

年次	年度 (基準年) R1	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 27	0.99307	0.98807	1.00625	0.99382	1.1699	103.0	10.17	3.27	1.93	15.37	17.99	0.32	0.06	0.12	0.49	0.58	0.03	0.04	15.90	18.60
1年目	H 28	0.99460	0.98957	1.00763	0.99536	1.1249	102.8	10.10	3.23	1.95	15.28	17.19	0.31	0.06	0.12	0.49	0.55	0.03	0.03	15.80	17.77
2年目	H 29	0.99616	0.99110	1.00905	0.99692	1.0816	103.0	10.05	3.19	1.96	15.20	16.44	0.31	0.05	0.12	0.49	0.53	0.03	0.03	15.72	17.01
3年目	H 30	0.99694	0.99185	1.00968	0.99770	1.0400	103.0	10.01	3.17	1.98	15.15	15.76	0.31	0.05	0.13	0.49	0.51	0.03	0.03	15.67	16.30
4年目	R 1	0.99920	0.99407	1.01180	0.99996	1.0000	103.0	9.98	3.14	2.00	15.12	15.12	0.31	0.05	0.13	0.49	0.49	0.03	0.03	15.64	15.64
5年目	R 2	0.99915	0.98700	1.00675	0.99809	0.9615	103.0	9.97	3.12	2.02	15.11	14.53	0.31	0.05	0.13	0.49	0.47	0.03	0.03	15.63	15.03
6年目	R 3	0.99915	0.98683	1.00671	0.99809	0.9246	103.0	9.96	3.08	2.04	15.08	13.94	0.31	0.05	0.13	0.49	0.45	0.03	0.03	15.60	14.42
7年目	R 4	0.99915	0.98665	1.00666	0.99808	0.8890	103.0	9.95	3.04	2.05	15.04	13.37	0.31	0.05	0.13	0.49	0.44	0.03	0.03	15.56	13.84
8年目	R 5	0.99915	0.98647	1.00662	0.99808	0.8548	103.0	9.95	3.00	2.06	15.01	12.83	0.31	0.05	0.13	0.49	0.42	0.03	0.03	15.53	13.27
9年目	R 6	0.99915	0.98628	1.00658	0.99808	0.8219	103.0	9.94	2.96	2.08	14.97	12.31	0.31	0.05	0.13	0.49	0.40	0.03	0.02	15.49	12.73
10年目	R 7	0.99914	0.98609	1.00653	0.99807	0.7903	103.0	9.93	2.92	2.09	14.94	11.80	0.31	0.05	0.13	0.49	0.39	0.03	0.02	15.46	12.22
11年目	R 8	0.99914	0.98590	1.00649	0.99807	0.7599	103.0	9.92	2.88	2.10	14.90	11.32	0.31	0.05	0.13	0.49	0.37	0.03	0.02	15.42	11.72
12年目	R 9	0.99914	0.98570	1.00645	0.99806	0.7307	103.0	9.91	2.84	2.12	14.87	10.86	0.31	0.05	0.13	0.49	0.36	0.03	0.02	15.39	11.24
13年目	R 10	0.99914	0.98549	1.00641	0.99806	0.7026	103.0	9.90	2.80	2.13	14.83	10.42	0.31	0.05	0.13	0.49	0.34	0.03	0.02	15.35	10.79
14年目	R 11	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.6756	103.0	9.89	2.76	2.14	14.80	10.00	0.31	0.05	0.14	0.49	0.33	0.03	0.02	15.31	10.35
15年目	R 12	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6496	103.0	9.89	2.72	2.16	14.76	9.59	0.31	0.05	0.14	0.49	0.32	0.03	0.02	15.28	9.93
16年目	R 13	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6246	103.0	9.81	2.69	2.15	14.65	9.15	0.30	0.05	0.14	0.49	0.30	0.03	0.02	15.17	9.47
17年目	R 14	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.6006	103.0	9.73	2.67	2.15	14.54	8.73	0.30	0.05	0.14	0.48	0.29	0.03	0.02	15.05	9.04
18年目	R 15	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.5775	103.0	9.65	2.64	2.15	14.43	8.34	0.30	0.04	0.14	0.48	0.28	0.03	0.02	14.94	8.63
19年目	R 16	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.5553	103.0	9.57	2.62	2.14	14.32	7.95	0.30	0.04	0.14	0.48	0.26	0.03	0.02	14.83	8.24
20年目	R 17	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5339	103.0	9.49	2.59	2.14	14.22	7.59	0.29	0.04	0.14	0.47	0.25	0.03	0.02	14.72	7.86
21年目	R 18	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.5134	103.0	9.41	2.57	2.13	14.11	7.24	0.29	0.04	0.13	0.47	0.24	0.03	0.01	14.61	7.50
22年目	R 19	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.4936	103.0	9.33	2.54	2.13	14.00	6.91	0.29	0.04	0.13	0.47	0.23	0.03	0.01	14.49	7.15
23年目	R 20	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4746	103.0	9.25	2.52	2.12	13.89	6.59	0.29	0.04	0.13	0.46	0.22	0.03	0.01	14.38	6.83
24年目	R 21	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4564	103.0	9.17	2.49	2.12	13.78	6.29	0.28	0.04	0.13	0.46	0.21	0.03	0.01	14.27	6.51
25年目	R 22	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4388	103.0	9.09	2.46	2.12	13.67	6.00	0.28	0.04	0.13	0.46	0.20	0.03	0.01	14.16	6.21
26年目	R 23	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4220	103.0	9.01	2.44	2.11	13.56	5.72	0.28	0.04	0.13	0.45	0.19	0.03	0.01	14.04	5.93
27年目	R 24	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.4057	103.0	8.93	2.41	2.11	13.45	5.46	0.28	0.04	0.13	0.45	0.18	0.03	0.01	13.93	5.65
28年目	R 25	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.3901	103.0	8.85	2.39	2.10	13.35	5.21	0.27	0.04	0.13	0.45	0.17	0.03	0.01	13.82	5.39
29年目	R 26	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3751	103.0	8.77	2.36	2.10	13.24	4.96	0.27	0.04	0.13	0.45	0.17	0.03	0.01	13.71	5.14
30年目	R 27	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3607	103.0	8.69	2.34	2.09	13.13	4.74	0.27	0.04	0.13	0.44	0.16	0.03	0.01	13.60	4.90
31年目	R 28	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3468	103.0	8.61	2.31	2.09	13.02	4.51	0.27	0.04	0.13	0.44	0.15	0.03	0.01	13.48	4.68
32年目	R 29	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3335	103.0	8.54	2.29	2.09	12.91	4.31	0.26	0.04	0.13	0.44	0.15	0.03	0.01	13.37	4.46
33年目	R 30	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3207	103.0	8.46	2.26	2.08	12.80	4.11	0.26	0.04	0.13	0.43	0.14	0.03	0.01	13.26	4.25
34年目	R 31	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.3083	103.0	8.38	2.24	2.08	12.69	3.91	0.26	0.04	0.13	0.43	0.13	0.03	0.01	13.15	4.05
35年目	R 32	0.99043	0.98867	0.99793	0.99139	0.2965	103.0	8.30	2.21	2.07	12.58	3.73	0.26	0.04	0.13	0.43	0.13	0.03	0.01	13.04	3.86
36年目	R 33	0.99034	0.98854	0.99792	0.99132	0.2851	103.0	8.22	2.19	2.07	12.47	3.56	0.25	0.04	0.13	0.42	0.12	0.03	0.04	13.02	3.71
37年目	R 34	0.99024	0.98840	0.99792	0.99126	0.2741	103.0	8.14	2.16	2.06	12.37	3.39	0.25	0.04	0.13	0.42	0.12	0.03	0.03	12.91	3.54
38年目	R 35	0.99014	0.98827	0.99791	0.99120	0.2636	103.0	8.06	2.14	2.06	12.26	3.23	0.25	0.04	0.13	0.42	0.11	0.03	0.03	12.80	3.37
39年目	R 36	0.99005	0.98813	0.99791	0.99114	0.2534	103.0	7.98	2.11	2.06	12.15	3.08	0.25	0.04	0.13	0.41	0.10	0.03	0.03	12.69	3.21
40年目	R 37	0.98995	0.98798	0.99790	0.99108	0.2437	103.0	7.90	2.09	2.05	12.04	2.93	0.25	0.04	0.13	0.41	0.10	0.03	0.03	12.58	3.06
41年目	R 38	0.98984	0.98784	0.99790	0.99102	0.2343	103.0	7.82	2.06	2.05	11.93	2.80	0.24	0.04	0.13	0.41	0.10	0.03	0.03	12.46	2.92
42年目	R 39	0.98974	0.98769	0.99790	0.99096	0.2253	103.0	7.74	2.04	2.04	11.82	2.66	0.24	0.03	0.13	0.40	0.09	0.03	0.03	12.35	2.78
43年目	R 40	0.98963	0.98754	0.99789	0.99090	0.2166	103.0	7.66	2.01	2.04	11.71	2.54	0.24	0.03	0.13	0.40	0.09	0.03	0.03	12.24	2.65
44年目	R 41	0.98953	0.98738	0.99789	0.99082	0.2083	103.0	7.58	1.99	2.03	11.60	2.42	0.24	0.03	0.13	0.40	0.08	0.03	0.03	12.13	2.53
45年目	R 42	0.98941	0.98722	0.99788	0.99074	0.2003	103.0	7.50	1.96	2.03	11.50	2.30	0.23	0.03	0.13	0.39	0.08	0.03	0.02	12.01	2.41
46年目	R 43	0.98930	0.98705	0.99788	0.99068	0.1926	103.0	7.42	1.94	2.03	11.39	2.19	0.23	0.03	0.13	0.39	0.08	0.03	0.02	11.90	2.29
47年目	R 44	0.98919	0.98688	0.99787	0.99060	0.1852	103.0	7.34	1.91	2.02	11.28	2.09	0.23	0.03	0.13	0.39	0.07	0.03	0.02	11.79	2.18
48年目	R 45	0.98907	0.98671	0.99787	0.99052	0.1780	103.0	7.26	1.89	2.02	11.17	1.99	0.23	0.03	0.13	0.39	0.07	0.03	0.02	11.68	2.08
49年目	R 46	0.98895	0.98653	0.99786	0.99046	0.1712	103.0	7.19	1.86	2.01	11.06	1.89	0.22	0.03	0.13	0.38	0.07	0.03	0.02	11.57	1.98
合計								448.37	125.51	103.63	677.52	371.99	13.91	2.14	6.55	22.60	12.28	2.78	1.07	702.90	385.34

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	五条大宮拡幅	8	0.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				2,284	
	改良費				1,454	
		土工	m3	22,962	1,368	
		深礎工	本			
		法面工	式			
		擁壁工	式			
		施設工	式			
		函渠工	m	48	86	
		排水工	式			
		情報管路工	Km			
		雑工	式			
	橋梁費					
		橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				324	
		車道舗装	m ²	23,782	209	
		歩道舗装	m ²	12,412	115	
	付帯施設費				506	
		付帯工事費	式	1	506	中央分離帯工、交通島等
②	用地及補償費				16,600	
	用地費		m ²	21,900	7,600	
		宅地	m ²	21,900	7,600	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
	補償費		式	1	9,000	
③	間接経費		式	1	1,700	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				20,584	

全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	五条大宮拡幅	8	0.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	0.9	250	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,250	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			1,500	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。